

こんにちは、虹色通信(なないろつうしん)です。

こんにちは、いつもお世話様です。虹色通信(なないろつうしん)です。4月になりました。今年は春だというのに雨が降ったりして、天候が不順な日々が続いています。何か桜の花が待遠しいのは、私だけでしょうか？4年前の長男の小学校入学式には、桜が咲いていました。異例と言えど異例ですが、やはり入学式には桜が似合いますね？ちなみに、その時の写真を載せておきます。今、コブクロの「桜」を口ずさんでいるのは、私だけでしょうか？(笑)



さて、23回目のお話を始めたいと思います。今回は「住宅のデザイン」についてお話ししたいと思います。デザイン、特に外観は住宅を新築するにあたって、重要視されています。やはり見た目は大事ですね？外観のデザインにも流行があります。**写真1**をご覧ください。これは今もある外観ですが、「南欧風」とか「プロヴァンス風」と言われてる外観です。文字通り、南フランス地方の洋風な雰囲気の外装です。色合い、雰囲気が似ているので、こう呼ばれてます。

写真2は、1階と2階の外装材の柄を張り替えています。これは「ツートン調」と言われ、階ごとに張り分ける方法と、一面だけ張り分ける方法があります。玄関等、一部を張り分ける方法もあります。玄関とかを張り分けると、アクセントになって感じが良くなります(**写真3・4**)。また**写真5**は外壁の角に付けるタイル調のコーナー材です。これも同じく、外壁にアクセントを付ける部材なので、有効にコーディネートできると思います。ただ、タイル調のサイディングとの組合せは逆に目立たなくなるので、写真のような単色の外壁材との組合せがベストだと思われます。



写真1



写真2



写真3

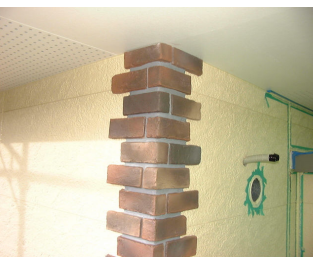


写真5

写真4

また**写真6**のように外壁は白色ですが、ベランダにアクリルパネルを使用し、アクセントにするのも一つかと思えます。

あと、**写真7・8**のような、片流れの屋根にした住宅も多く目立つようになりました。これは屋根を一つにする事でコストを安くあげると共に、外観にアクセントが付きます。その極端な例が**写真9**です。ここまでデザインにこだわると、機能性に影響が出るかも知れませんが、これも一つだと思えます。切妻屋根も寄棟屋根よりコスト面では安くはできます。

皆様も、デザインにはこだわりがあると思います。それはこだわりで重視されていいと思いますが、それと共に機能性も考えた方がいいと思います。折角の家もデザイン重視で使いづらくなってしまっていては、意味がなくなってしまうからです。



写真6



写真7



写真8



写真9

M-ONE HOME

集い(つどい)

(株)モリケン

TEL:(0268)68-2225 FAX:(0268)68-2196 森田携帯(090)2215-8356

URL:<http://www.moriken-motto.com>

E-mail:mail-info@moriken-motto.com